

第12回日本疲労学会総会・学術集会プログラム

第1日：5月20日（金）

受付開始 8:30

開場 9:00

開会

時間 9:30

神奈川県 黒岩祐治知事 挨拶

時間 9:35～9:40

招待講演

時間 9:40～10:00

演題 ヘルスケア・ニューフロンティアの取り組み

演者 首藤 健治 神奈川県 理事

基調講演

時間 10:00～10:20

演題 個別健康の最大化～健康"生き活き"羅針盤リサーチコンプレックス

演者 渡辺 恭良 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター

休憩

シンポジウム I 「疲労の脳科学」

時間 10:30～12:30

座長 渡辺 恭良 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター

木山 博資 名古屋大学大学院医学系研究科

S-11 急性身体的疲労によって誘発される脳活動の亢進：脳磁図研究

田中 雅彰 大阪市立大学大学院医学研究科

S-12 脳磁図計を用いた新規開発香料の抗疲労効果に関する検討

山野 恵美 大阪市立大学大学院医学研究科

S-13 小児の疲労と高次脳機能・情動機能

水野 敬 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 健康・病態科学研究チーム

- S-14 脳内疲労感の分子神経メカニズムおよび疲労の慢性化
崔 翼龍 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター
- S-15 慢性疼痛の原因細胞としてのミクログリア -中枢での痛みの記憶素子-
木山 博資 名古屋大学大学院医学系研究科
- S-16 プラズマローゲンによるオーファン GPCR を介したシグナル伝達
片瀧 俊彦 九州大学大学院医学研究院

休憩

評議会 (513 室)

ポスターセッション：ディスカッション

時間 13:20~14:40

- P-1 ME/CFS の実態及び疫学調査
福田 早苗 関西福祉科学大学健康福祉学部
- P-2 新たなME/CFS 臨床診断基準
倉恒 弘彦 関西福祉科学大学健康福祉学部
- P-3 ME/CFS の診断にあたっての鑑別疾患と併存疾患
松本 美富士 (独) 桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科
- P-4 心療内科における慢性疲労症候群 (ME/CFS) および精神疾患との鑑別
吉原 一文 九州大学大学院医学研究院心身医学
- P-5 活動量による睡眠状況の評価の試み(慢性疲労症候群患者と健常者の比較)
山口 浩二 大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学
- P-6 慢性疲労症候群の筋肉量、筋力低下が日常生活に与える影響
田中 邦彦 大阪市立大学大学院医学研究科
- P-7 慢性疲労症候群のための認知行動療法プログラムの開発ー心理・社会的背景の客観的指標構築に向けてー
藤江 里衣子 名古屋大学医学部附属病院総合診療科
- P-8 慢性疲労症候群患者に対する臥位で行なうアイソメトリックヨーガプログラム (IY-CFS) の開発と、その疲労改善効果の検討
岡 孝和 九州大学大学院医学研究院心身医学
- P-9 疲労に対する対処行動が病状の回復を遅らせていると考えられる CFS 患者に対する治療プロトコルの開発
岡 孝和 九州大学大学院医学研究院心身医学
- P-10 統合失調症患者の易疲労性と関連する因子についての検討
佐藤 普爾 埼玉県立大学保健医療福祉学科精神医学
- P-11 入浴形態の違いが睡眠に与える影響
松下 大剛 TOTO株式会社 総合研究所

- P-12 入浴形態が疲労回復効果・睡眠の質向上効果に与える影響
近藤 雅之 積水ハウス株式会社 総合住宅研究所
- P-13 還元型コエンザイム Q10 (ユビキノール) の抗疲労作用
藤井 健志 株式会社カネカ QOL 事業部
- P-14 小中高生の深刻な疲労実態
水野 敬 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム
- P-15 中国の日本人学校の中学生に対する客観的健康評価
大川 尚子 関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科
- P-16 長時間労働者と交代制勤務看護師の自律神経機能の比較からみた労働者の疲労の実態
土岐沢 優紀 大阪大学大学院医学系研究科
- P-17 高齢者へのダイバーショナルセラピー前後における介護職員の気分変化 – KOKORO スケールを用いた各介護業務中の気分測定 –
片岡 洋祐 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター細胞機能評価研究チーム
- P-18 急性身体的疲労によって誘発される脳活動の亢進：脳磁図研究
田中 雅彰 大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学
- P-19 疲労レベルの予測に関わる神経メカニズムの脳磁図研究
石井 聡 大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学
- P-20 脳磁図計を用いた新規開発香料の抗疲労効果に関する検討
山野 恵美 大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学
- P-21 疲労と感情認知の関連機序研究
渡邊 恭介 大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学
- P-22 恋人への思いが強くなるほど疲れが増大する
佐々木 章宏 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康病態科学研究チーム
- P-23 慢性疼痛の原因細胞としてのミクログリア –中枢での痛みの記憶素子–
木山 博資 名古屋大学大学院医学系研究科機能組織学
- P-24 唾液中ヒトヘルペスウイルス(HHV-)6 及び HHV-7 量による病的疲労と生理的疲労との鑑別に関する検討
小林 伸行 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座
- P-25 疲労代謝の分子機構の解明、および疲労の潜在的代謝物マーカーの探索研究
久米 慧嗣 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター細胞機能評価研究チーム
- P-26 エネルギー代謝を低下させた疲労動物モデルにおける脳内神経炎症の惹起
大和 正典 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター細胞機能評価研究チーム
- P-27 疲労モデルラットにおける肝細胞変性とストレス関連転写因子の発現
小川 登紀子 大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学

一般口頭発表セッション

時間 14:40～15:20

座長 近藤 一博 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座

O-1 自験慢性疲労症候群/繊維筋痛症患者における Sarcopenia の検討

松本 美富士 (独)桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科

O-2 唾液中に分泌された HHV-6 がうつ病を発症させるメカニズムの解明

岡 直美 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座

O-3 ブルーライトカットレンズ (遮光レンズ) による瞳孔および羞明に与える影響の検討

原 直人 国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科

休憩

セッション 「慢性疲労症候群の実臨床」

時間 15:30～16:45

座長 三羽 邦久 ミワ内科クリニック

松原 英俊 康正会クリニック 慢性疲労外来

O-4 筋痛性脳脊髄炎 (慢性疲労症候群) 患者における起立不耐症と座位不耐症に関わる循環調節異常と体位性運動失調について

三羽 邦久 ミワ内科クリニック

O-5 漢方治療が有効であった慢性疲労症候群 (Chronic fatigue syndrome) の 3 症例

守屋 純二 金沢医科大学総合内科学

O-6 当科 CFS 治療プログラムによる治療によって良好な経過を得た慢性疲労症候群の一例

宮田 典幸 九州大学大学院医学研究院心身医学

O-7 鍼灸治療が有効であった慢性疲労症候群の 2 症例

佐藤 学 佐藤針灸院

O-8 精神疾患併存患者における慢性疲労に対する食事を中心とした生活習慣介入を主たる治療とする胃食道逆流症(GERD)治療の有効性

松原 英俊 康正会クリニック 慢性疲労外来

O-9 急速に改善している慢性疲労症候群の 1 症例

班目 健夫 青山・まだらめクリニック 自律神経免疫治療研究所

懇親会 (Ristorante ATTIMO 展示ホール 2F 海側)

時間 18:00～20:00